

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和3年 6月28日

愛知県知事 殿

提出者

住所 愛知県刈谷市豊田町2-1

氏名 株式会社 豊田自動織機 刈谷工場

工場長 水藤 健

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0566-22-2511（代表）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 豊田自動織機 刈谷工場
事業場の所在地	愛知県刈谷市豊田町2-1
計画期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
1 事業の種類	31：製造業 輸送用機械器具製造業
2 事業の規模	売上高：21183億円
3 従業員数	2583人

	<p>④産業廃棄物の一連の処理の工程</p> <p>別紙 1 参照</p>
--	---------------------------------------

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)	
別紙 2 参照	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項												
1 現状	【前年度（令和2年度）実績】											
	産業廃棄物の種類	別紙 3 参照										
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="width: 25%;">排出 量</td><td style="width: 25%; text-align: center;">t</td><td style="width: 25%; text-align: center;">t</td></tr> <tr> <td colspan="3">(これまでに実施した取組)</td></tr> <tr> <td colspan="3">・廃油の濃縮処理対象物の拡大</td></tr> </table>				排出 量	t	t	(これまでに実施した取組)			・廃油の濃縮処理対象物の拡大		
排出 量	t	t										
(これまでに実施した取組)												
・廃油の濃縮処理対象物の拡大												
②計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	別紙 3 参照										
	排出 量	t	t									

	(今後実施する予定の取組) ・濃縮廃液の有価物化
--	---------------------------------

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別している産業廃棄物の種類 → 別紙4参照 ・分別に関する取組み → 社員受入教育等で廃棄物の分別に関する教育を実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・特になし (従来の活動を継続)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度(年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	対象なし	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	対象なし	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

1 現状	【前年度(令和2年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥(脱水汚泥)	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t

	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	183 t	t
(これまでに実施した取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥形成の薬注量の適正管理 ・汚泥の脱水・乾燥機の適正運転 			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（脱水汚泥）	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	183 t	t
(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・特になし（従来の活動を継続） 			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	対象なし	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	対象なし	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

1 現状	【前年度（平成31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙5参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙5参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t

	(今後実施する予定の取組)
※事務処理欄	

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

④産業廃棄物の一連の処理の工程

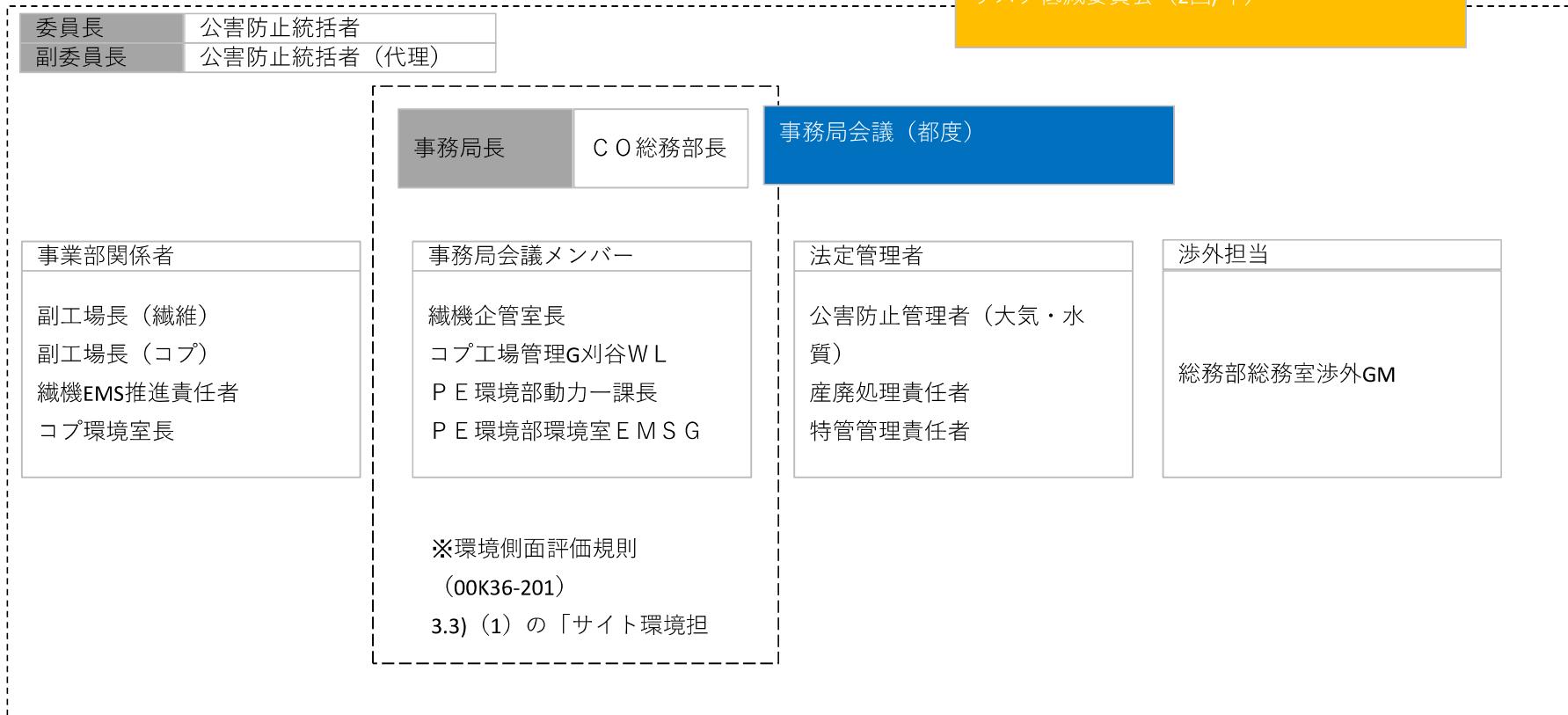
【発生する廃棄物と再利用方法】

分類	廃棄物名称	処理先	処理方法	再利用方法	備考
汚泥	スラッジ	中間処理業者	焼却	路盤材	
	テフロン塗料溶液	中間処理業者	焼却	路盤材	
	汚泥	中間処理業者	脱水	セメント原料	
	研磨汚泥	中間処理業者	圧縮固化	製鋼向け還元材	
	清掃汚泥	中間処理業者	焼却	路盤材	
	脱水汚泥	自社	脱水	-	自社処理後、業者へ委託
		中間処理業者	乾燥	セメント原料	
	粉体塗料カス	中間処理業者	焼却	路盤材	
廃油	含油廃水	中間処理業者	油水分離	燃料	
	水溶性廃油	中間処理業者	濃縮	路盤材	
	濃縮廃液	中間処理業者	混練	燃料	
		中間処理業者	焼却	路盤材	
	廃油	中間処理業者	油水分離	燃料	
	油泥	中間処理業者	焼却	路盤材	
廃酸	廃酸	中間処理業者	焼却	路盤材	
		中間処理業者	中和	-	排水処理後放流
廃アルカリ	廃アルカリ	中間処理業者	焼却	路盤材	
廃プラスチック類	OA機器	中間処理業者	破碎・溶融	原材料	
	廃フィルター類	中間処理業者	焼却	路盤材	
	塩ビ系廃プラ	中間処理業者	焼却	路盤材	
	金属付き廃プラ	中間処理業者	焼却	原材料、路盤材	
	固体燃料廃プラ	中間処理業者	破碎圧縮成形	燃料	
	生活廃棄物	中間処理業者	焼却	路盤材	
	塗料カス	中間処理業者	焼却	路盤材	
	廃ウエス	中間処理業者	焼却	路盤材	
金属くず	廃プラ類	中間処理業者	焼却	路盤材	
	乾電池	中間処理業者	選別	鉄原料	
ガラス・陶磁器くず	ガラス・陶磁器くず	中間処理業者	破碎	原材料	
	蛍光灯	中間処理業者	破碎	グラスウール原料	
木くず	木くず	中間処理業者	破碎	燃料	

別紙2

別紙1

<刈谷工場リスク低減の運営組織>



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項**【令和2年度実績と令和3年度目標】**

産業廃棄物の種類	名称	排出量 (t)		備考
		R2実績	R3目標	
汚泥	スラッジ	7	7	
	テフロン塗料溶液	1	1	
	汚泥	209	209	
	研磨汚泥	1	1	
	清掃汚泥	18	18	
	脱水汚泥	23	23	
	粉体塗料カス	2	2	
		261	261	
廃油	含油廃水	0	0	
	水溶性廃油	37	37	
	濃縮廃液	95	95	
	研磨汚泥	7	7	
	油泥	57	57	
		196	196	
廃酸		23	23	
廃アルカリ		103	103	
廃プラスチック類	OA機器	0	0	
	フィルター	1	1	
	塩ビ類	6	6	
	金属付廃プラ	10	10	
	固体燃料廃プラ	44	44	
	生活廃棄物	12	12	
	塗料カス	8	8	
	廃ウエス	6	6	
	廃プラ	80	80	
		167	167	
金属くず		1	1	
ガラス・陶磁器くず		2	2	
木くず		31	31	
合計		784	784	

資源分別基準

資源物	保管場所 No.	資源の種類		主な資源名	利用方法	処理方法	機関方 法基準	機関(地) 域基準	備考
		産業廃棄物の 該当箇	名称						
一般 廃 棄 物	1 ⑧	-	機密書類	機密書類	紙	-	2	2	写真・カーボン紙・OHPシート・ラミネート・トレーシングペーパー・金属類不可
	1 ②	-	一般ゴミ・生ごみ	ティッシュ、たばこの内紙、エウットティッシュ たばこの吸殻(吸殻入れにて回収)、消掃ゴミ つまりようじ、消しゴムのカス、枯れ葉(少量)、生ごみ、お茶葉	×	社外焼却	3	2	・一般ゴミは捨権に提出すること ・吸殻は必ず火を消すこと ・7mm四方以下の紙
	15 ②	-	枯れ葉	枯れ葉、草、枝	肥料	-	2	2	・枯れ葉、草、枝以外は入れないこと
	27 ⑯	-	ガラス・陶磁器屑	ガラス屑、陶磁器屑	ガラス	-	2	2	・茶色のガラス瓶、透明の瓶、瓶以外のガラス類、陶磁器類の4種類に分別すること
	14 ⑯	-	空き缶・空き瓶	湯飲み茶碗・コップ・陶磁器・試薬瓶・空のコーヒー瓶・ガラス、鏡	飲料水の空き瓶・自販機横の専用置場	-	メカ引取	2	・中身は空にしてから出すこと ・自販機横の専用置場でも可
	1 ⑨	ガラス・陶磁器屑	ペットボトル	ペットボトル空容器	-	メカ引取	2	2	・中身は空にしてから出すこと ・自販機横の専用置場でも可
	39 ⑯	-	紙コップ	紙コップ・紙パック	-	メカ引取	2	2	・中身は空にしてから出すこと ・ストローは付けたままでOK ・自販機横の専用置場でも可(紙系飲食容器に限る)
	3 ①								
	39 ⑯	-							
	3 ①								
産業廃棄物	14 ⑯	金属くず	乾電池	単1、2、3の使用済み乾電池 コイン電池、リチウム1次・2次、ニッケルカドミウム、ニッケル水素、小型鉛シール蓄電池	材料	-	2	2	
	14 ⑯	ガラスくず	蛍光灯・電球	蛍光灯(110W, 40Wなど)、蛍光灯の割れた物 水銀灯、ナトリウム燈、電球、ランプ類	材料	-	2	2	・蛍光灯、ナトリウム燈、電球、ランプ類 ⇒ その他の電球
	1 ⑪	ガラスくず	蛍光灯	蛍光灯(32, 40, 110W)	材料	-	2	2	
	14 ⑦	廃プラスチック類	フィルター	筒フィルター、糸巻きフィルター	材料	-	2	2	
	25 ⑤	廃プラスチック類	塩ビ類	塩ビ類、塩ビ配管、塩ビ板、塩ビの捲包材(トレイ等)	材料	-	2	3	
	14 ⑧	廃プラスチック類	塩ビ類	ウエス	材料	-	2	3	・レンタルウェス、クリーニング出来る色ウエスは廃棄しないこと
	39 ⑯	廃プラスチック類	廃棄用ウエス		材料	-	2	3	
	15 ①								
	14 ⑯	廃プラスチック類	廃プラスチック類 ゴム類、ペーパー 含む	スポンジ、マーカ、マジック、MCナイロン、油圧ホース、 サンドベア、ビニールテープ、端子台カバー、エアホース カッティングシート、Oリングゴム、ゴム、活性炭、パフ布 樹脂切粉、塗装ホース(金属なし)、ボールペン ホラード写真、キムワイプ、ゴム手袋、シールキャップ リレーケース、ペーパーフィルター サークリップ袋包ビニール※、床ラインテープ※ スイッチカバー、配線ケース、ペダル、ウレタンマット 電気部品ケース、アルミニコーン袋、軍手(穴があいたもの) テレホンカード、ニリル手袋、皮手、ビニタイ、作業帽	材料	-	2	3	・※サークリップ袋包ビニール、床ラインテープ(50mm, 100mm幅)は、 塩ビを含んでいますが廃プラで回収します
	25 ⑯	廃プラスチック類	金属付廃プラ	アルミホイル、リップシール、フロビーティスク、作業服 金属付ファイル、金属付フルターナー、サドル、樹脂埋めサンプル ベルト、100mlライナー、ホワイトボード※	材料	-	2	3	・※400mm×400mm以下に切断すること ・※小さい金属付プラを廃棄する時は必ずビニール袋に入れて廃棄すること
廃棄物	10 ④	廃プラスチック類	图形塗料廃プラ	マークチューブ*2、糊包用バンド ラミネート(紙付可)、リップシールケース、糊包用樹脂、 OHP用紙、ライトロン、クリンコ材、ガムテープ、 インショロック、仕切り栓、シールシール台紙、 テブラシール、部品ケース(塩ビは不可)、充泡スチロール、 ポロライドフィルムケース、シールテープケース、セロハンテープ 透然紙、写真、カモフラージュシート台紙、透然紙、ネガ カーボン付紙、テープ付紙、紙ひも、床ラインテープ*3 糊包装(内面にコーティング加工がしてある物)、ネガ袋 刃具カバー、手術用ゴム手袋糊包袋、ポンプホース、ユニバッ 油圧SOLバルブ底キヤップ、レザーラベル スーパーフォームスクリーニングキップ、 スハイラルチューブ(ニッタ・ムードー製)、エアホース*1 防塵マスクフィルター、パックアップ電池入れトレイ、 コンビニ・スーパーの袋、ビニール封筒(透明)、トレーシングペーパー、 PE袋、インショロック、ダンブラ、プラスティック容器 エアバグ、PP桶・ハンド 油付ビニール袋(ラベル付含む)、 油付エアーキャップ(ラベル付含む)*4	图形塗料	-	2	3	・生活系のゴミ(お菓子の袋など)不可 ・金属付プラスチックは不可 ・塩ビを含んでる物は不可(塩ビちゃんで調べて下さい) ・ゴム類不可 ・熱着化粧プラスチック(フェノール樹脂、アミノ樹脂、不飽和ポリ エボキシ樹脂、ポリウレタン)は不可、シリコンは不可 ・熱塑性マテラル(ポリエチレン、アクリル、PP、PS、 PETP、ポリセタール、ナイロン、PC、PBTP、 ABS樹脂)は可 ・PETP、ポリセタール、ナイロン、PC、PBTP、ABS樹脂)は可 **1エアホースはチヨダ製(黄色、黒色、緑色)、SMC製 (SOFT NYLON)に限る。 **2マークチューブには、様々な素材がある為塩ビちゃんで確認 して下さい。 **333mm幅の床ラインテープに限る **4油付、ラベル付に限る(油付、ラベル付以外一資源濃厚)
	27 ⑯								
	1 ③	廃プラスチック類	生活系廃プラ	空弁当箱・カバン・空容器、割り箸、お菓子の袋、タバコの外フィルム ガム(紙に包んだもの)、つまりようじ、ストロー(単体) お菓子のボリ容器、パン袋、カップ類のフタ蓋のケース	材料	-	2	3	・空弁当箱の中身は生ごみへ廃棄し、軽く水洗いすること
	15 ③								
	27 ⑯								
	1 ⑩	木くず	木屑	一般木片	材料	-	2	2	
	6 ①								
	25 ④								
	7 ①	廃プラスチック類	塗剤カス	鉄板塗装ラインのブース洗浄時に出たもの	材料	-	2	3	・豊田ケミカル回収
	7 ②	廃プラスチック類	塗剤カス	鉄物塗装ラインのブース洗浄時に出たもの	材料	-	2	3	・豊田ケミカル回収
廃棄物	-	廃酸	廃酸・精液廃液	廃酸・精液廃液	中和	-	2	3	・廃棄物処分依頼書を提出する事
	-	廃食性廃酸	廃食性廃酸	廃食性廃酸	社外 焼却	3	5	5	・廃棄物処分依頼書を提出する事
	-	廃アルカリ	廃アルカリ	廃アルカリ	油水分離	-	2	3	・廃棄物処分依頼書を提出する事
	-	堿泥	堿アルカリ(汚泥)	酸化アルカリ(汚泥)	油水分離	3	3	3	・廃棄物処分依頼書を提出する事
	-	廃油	有機溶剤	アセトン・溶液・エタノール・溶液	油水分離	-	2	5	・廃棄物処分依頼書を提出する事
	-	グリース	シリコングリース・X-Oグリース	シリコングリース・X-Oグリース	社外 焼却	3	3	3	・廃棄物処分依頼書を提出する事
	-	廃アルカリ	メキシ酸液	NPメキシ酸液	社外 焼却	3	3	3	・廃棄物処分依頼書を提出する事
	-	汚泥	排水汚泥	排水処理された汚泥	材料	-	2	3	・都度連絡する事
	-	堿泥	堿性(メント)	排水処理場から出るものの	材料	-	2	3	・都度連絡する事
	-	廃プラスチック類	空テプラケース	KING JIMの使用済みテプラケースのみ	ケース	-	2	3	・都度連絡する事
	-	廃プラスチック類	OHP機密書類	OHP機密書類	社外 焼却	3	3	3	・各部署でまとめて「機密OHP・FD机分依頼書」にて環境Gへ依頼
廃棄物	3 ②	汚泥	清掃汚泥	清掃汚泥	材料	-	2	3	
	22 ⑯	⑧							
	5 ⑥	油	水溶性廃液	切削水等	燃料	-	2	3	
	9 ①								
	18 ⑯								
	19 ⑯								
	24 ⑯								
	26 ⑯								
	-	廃プラスチック類	テフロン	テフロン	材料	-	2	3	・テフロン塗剤カス、溶剤付ペーパー、シンナー付ペーパーは可
	22 46	廢油	ダフニーアルファークリーナ	ダフニーアルファークリーナ	燃料	-	2	5	
	-	汚泥	油泥	油泥等を含む液体	燃料	-	2	3	
	-	汚泥	スラッジ	切粉・汚泥等を含む液体	燃料	-	2	3	
	27 ⑯	汚泥	研磨汚泥	アルミ・鉄・テフロンの研磨カス	原料	-	2	3	・活性炭・樹脂・タバコの殻殻・軍手・ビニール・刷毛等は絶対 に混入させないこと(汚泥のみに限定)
	22 ⑯								
	-	汚油	テフロン・塗料溶液	テフロン・塗料溶液	燃料	-	2	3	
	14 ⑯	陶磁器屑	砥石屑	砥石屑	材料	-	2	3	
	22 ⑯								
感染性廃棄物	-	感染性廃棄物	医療系廃棄物	注射器等	材料	-	2	5	・都度連絡すること
	40 ⑯	廢油	含水アルコール・白灯油	含水アルコール・白灯油	燃料	-	2	5	

有 価 物	25	①	-	アルミ100%	シリンダ、ハウジング、フランジ、シェル、ロータ、磁石付き斜板	材料	-	1	1	・ピン付可、めっき付可	
	25	③	-	アルミ50%以上	安全弁(PRV)、センサー、アルミシュー	材料	-	1	1	・鋼8%混入品。センサーのコードは切ること	
	25	③	-	アルミ49%以下	ロータアッシャー、シャフト斜板アッシャー、ピストンワッフルアッシャー、ハーメチックケース	材料	-	1	1	・鋼47%混入品、分解できるものは分別所に持ち込むこと ・ケーブル部分は切り取ること	
	25	⑥	-	ピストン	アルミピストン・ロータリーバルブ	材料	-	1	1	・テフロン塗装の有無関係無し	
	25	⑦	③	-	鋼屑級外	ホチキスの芯、エフの針金、針金、塗料付鋼屑、モータ、ファン、台車車輪、自転車の金属部分、SSハブ、金属ロータ、機密端子、ゴムキヤップ、ハブ(2Way用)、コントロールバルブ本体	材料	-	1	1	・芯などの細かい物は缶などに入れて廃棄のこと。モータなどの油は抜いてあること ・1.2m以下 ・樹脂ロータは、分別場にて金属と樹脂に分けること
	25	②	-	鋼屑2級	コントロールバルブ本体、ガスケット、ボルト類、刃具、ドリル類、鋼材、ペアリング、スプラインハブ、樹脂ロータの金属部分、モータステータ、モータロータ、モータロータ+シャフト(混合品)、ブーローラ(2Way用)モータロータ+シャフト+Fハウジング(混合品)、インナーハブ、ステータ、ロータコア、プラット、ワニウェイクラッチ、シム、磁石、スペーザ、モータハウジング+モータステータ(混合品)	材料	-	1	1	・塗装付は不可	
	25	⑧	-	鋼屑級外長物	3m以下鋼材 & ささる物	材料	-	1	1	・3m以上の物は生鋼柵に報体依頼を出すこと	
	25	⑪	-	一斗缶・ペール缶	一斗缶・ペール缶、スーパーフォーム、スプレー缶	材料	-	1	1	・一斗缶、ペール缶は油を確実に抜いてプレス機でつぶしてから廃棄すること ・スプレー缶は全部使い切ってから各部署で缶の底に穴を開けてから廃棄すること ・キャップは外して分別して適切な場所に廃棄すること ・オイルパンにたまつた油は都度回収すること ・床に油をこぼしたら確実に拭き取ること	
	25	⑨	-	鋼ダイ・ニュームダライ	鋼ダイ・ニュームダライ	材料	-	1	1		
	25	⑪	-	鋼類・真鍮類	鋼パイプ、鋼部品類、鋼治具類	材料	-	1	1	・鋼類と鋼線屑は分別のこと	
		-	鋼屑	真鍮フランジ、真鍮フィルター、真鍮部品類、真鍮治具類	材料	-	1	1			
		-	鋼線屑	鋼部品、鋼パイプ、鋼治具類	材料	-	1	1			
	10	⑯	-	ケーブル屑	OAケーブル、リード線、電線屑、センサーコード、ワイヤーハーネス	材料	-	1	1		
	25	⑬	-	ステンレス屑	ステンレス屑	材料	-	1	1		
	14	②	-	純金切削	純金屑	材料	-	1	1		
	14	⑤	-	真鍮切削	真鍮フランジ、真鍮フィルター、真鍮コントロールバルブ、真鍮治具類	材料	-	1	1		
	14	①	-	アルミ屑	アルミ屑	材料	-	1	1		
	14	④	-	真鍮合金	真鍮合金	材料	-	1	1		
	28	⑯	-	回収油	100%油、浮上油	材料	-	1	1		
	17	⑰	-	ニュームダライ	ホッパニュームダライ	材料	-	1	1		
	21	⑲	-	鋼ダライ		材料	-	1	1		
	22	⑳	-	アルミスラッシュ	アルミ屑	材料	-	1	1		
	4	④	-	鋼屑1級		材料	-	1	1		
	5	③	-	鋼ダライ		材料	-	1	1		
	8	①	-	紙ダライ	ホッパ紙ダライ	材料	-	1	1		
	23	⑲	-	基板屑	プリント基板類	材料	-	1	1		
	10	⑯	-	ケーブル屑	OAケーブル、リード線、電線屑、センサーコード、ワイヤーハーネス	材料	-	1	1	・鋼線部分の直径が2mm以下の物	
	36	51	-	混合(鉄・アルミ)	鉄・アルミ混合	材料	-	1	1		
	52	-	-	鉄・アルミ	鉄・アルミ	材料	-	1	1		
	15	⑦	-	バッテリ	バッテリ	材料	-	1	1		
	1	⑦	-	シュレッダ屑	シュレッダ屑(糞の目切、短冊切含む)	ミックスペッパー	-	2	2	・OHP等のプラスチック類は入れないこと ・様書き類でなければ再生紙へ分別のこと	
	1	⑤	⑤	-	再生紙	使用済みコピー紙、ユニオニニュース、電算用紙、検査票、払出し書類、色紙、ポスト印、伝票類(カーボン付以外)	再生紙	-	2	2	・かよい薪(青色)にて回収(コブのみ) ・ホチキスは外すこと、紙は丸めずに出すこと ・7mm四方以上の紙屑は再生紙に該当
	1	④	④	-	ダンボール屑	ダンボール	ダンボール	-	2	2	・平らに折りたたむこと ・小さい物は大きいダンボールの間ににはさんで出すこと
	25	⑫	-	ダンボール屑	ダンボール、ラップ芯	ダンボール	-	2	2	・油が多量に付着しているものは不可	
	1	⑤	④	-	雑紙・雑株(CO) 雑紙・カタログ(雑紙)	封筒、エフ(針金以外)、紙袋、部品ケース用の厚紙、原料袋、梱包袋(ハトロン紙)、蛍光灯の梱包材、紙製コンテナ、おかしの箱、たばこの箱(ソフトケース含む)、防錆紙、ボラロイドフィルムの抜き取り紙、雑誌、カタログ、広告	雑紙	-	2	2	・梱包袋は内面がコーティング加工していない物
	35	⑯	-	雑紙(コブ)	封筒、エフ(針金以外)、紙袋、部品ケース用の厚紙、原料袋、梱包袋(ハトロン紙)、蛍光灯の梱包材、紙製コンテナ、おかしの箱、たばこの箱(ソフトケース含む)、防錆紙、ボラロイドフィルムの抜き取り紙	雑紙	-	2	2	・かよい薪(黄色)にて回収。雑誌は回収すること ・梱包袋は内側がコーティング加工していないこと ・タバコの箱(ソフトケース含む)は必ず開いて出すこと ・窓付き封筒はビニール部分を取って雑紙へ出すこと ・手帳は表紙部分のビニールを取り外し雑紙へ出すこと ・蓋場内の前に移し変えること(結棄する必要なし)	
	1	⑥	⑤	-	新聞	新聞		-	2	2	
	1	⑥	④	-	雑誌紙(CO、雑誌)	コピーペーパーA5サイズ以上のもの、色紙、厚紙、メ用紙、お菓子の箱、たばこ箱(ソフトケース含む)等		-	2	2	・CO・雑誌事業部ルール
	35	48	-	安全靴	安全靴	材料 安全靴 メカ 下駄	2	3	3	・メカ別に清別すること	
	-	-	-	クリーニング色ウエス	使用済色ウエス	ウエス	-	2	3	・クリーニングして再利用 ・油が底の底にたまっている物は廃棄しないこと ・水分を吸ったウエスを袋に入れ過ぎないようにすること	

その他

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【令和2年度 実績】

【令和3年度 計画】